

株式会社 松屋 2017年8月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	10.0	2.6
② 銀座店	11.0	3.1
③ 浅草店	-0.8	1.8

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
銀座本店	-13.1	-10.2	-5.2	-4.2	-0.8	-3.6	0.9	4.0	-2.3	-0.6	6.5	10.0
松屋銀座	-13.5	-10.5	-5.7	-4.2	-0.6	-3.3	1.4	3.0	-2.4	-0.9	7.1	11.0
松屋浅草	-7.3	-5.2	0.4	-4.2	-3.1	-8.4	-5.0	16.5	-0.4	2.5	-1.3	-0.8

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、婦人・紳士衣料品において秋物新作を始めとしたプロパー商品の動きが堅調に付き、衣料品全体で売上高は好調に推移いたしました。また、先月に引き続き訪日外国人によるお買上げも、化粧品・ラグジュアリーブランド・時計等が全体を牽引し、売上高を大きく伸ばしました。食品部門では、気温による影響もあり野菜・果物が不調も、惣菜・菓子・和洋酒が好調に推移し売上高が前年を上回るなど、銀座店全体では前年の台風影響等の営業条件も加勢し売上高は2桁以上伸び、2ヵ月連続で前年を上回りました。
浅草店	浅草店は、惣菜・寿司弁当・和菓子を軸に食品部門が牽引するも、衣料品・婦人雑貨が苦戦し、店全体の売上高は前年に今一步及びませんでした。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	14.8	14.8
婦人服・洋品	7.5	8.5
子供服・洋品	6.9	6.9
呉服寝具他	0.0	0.6
衣料品計	8.1	8.9
身廻り品	11.7	11.8
雑貨	28.9	29.2
家具	-10.1	-10.1
家電	28.6	28.6
家庭用品	3.2	3.2
家庭用品計	-3.4	-3.3
食料品	1.9	2.9
食堂・喫茶	33.4	33.4
サービス、その他	-13.6	-13.9
合計	10.0	11.0

商品別概況(銀座店)

*紳士服・婦人服ともに、晩夏初秋物・秋物新作を始めとしたプロパー商品が好調に推移いたしました。
 *婦人服は、高価格帯の婦人服ゾーンの動向が引き続き堅調に推移いたしました。
 *雑貨は、化粧品・時計において売上高が2桁以上伸び、店全体の売上高向上に寄与しました。
 *訪日外国人によるお買上につきましては、購買客数・売上高ともに前年を大きく上回り、特に化粧品等の自家需要商材や時計等へのニーズが高く、免税売上高は前年を大きく上回りました。

(特記事項)

*特にございません。

※「9月売上速報」は、10/2(月)15時に開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課
 TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639